

定例会合議事録（12月18日）

2012年12月19日

日本ネパール友好協会 事務局

開催日時：2012年12月18日（火曜日） 19:00～21:10

開催場所：立川市柴崎会館 3階 学習室

出席者：武本孝史、渡部調匡、長野 寛、中嶋節子、村松良記、江袋美恵子、江袋知子、
山岸とし子、松村鈴子、関 千秋、綾部直明、増田正三郎（敬称略）12名

議事：

1. 武本会長挨拶と提案について

- ネパール国西部地区を10日間かけて、延べ2,500km巡回し、昨日（17日）
ネパールから帰国、活動が停滞していた当該地区の活性化が図れました。
- 本年度（2012年度）の学童教育支援額を500千円（前年度実績300千円）
としたいとの提案があり、承認されました。
 - ①今年度支援先：17校、175名（昨年支援実施12校、105名）となります。
 - ②支援品：1児童あたり制服各2着、ノート、鉛筆、消しゴムなどで1年間通学が可能
になります。
 - ③現地支援金管理ボランティア組織：エカタ（和合の意）サマーズです。

- ソロブチミスト立川からネパールの学校建設支援資金として、400千円の寄進が
ありました。当協会が、最適と判断する地区の学校建設資金に使うこととなります。

2. 「真乗プロジェクト」への助成申請について

- 事務局提案に対して活発な討議があり、概略以下の通り、助成申請することが、
決定されました。
 - ①ネパール音楽、舞踊、食文化紹介をする「パーティー」を市内で開催する。
目的は、当協会の活動を立川市内各分野に幅広くPRし、協賛会員の輪を広げる
こと。ネパール国大使館との連携を深め、市内在住ネパール人との絆を強める。
 - ②「ネパールフェスタ・イン・たちかわ（仮称）」として、来年2回程度開催する。
 - ③助成申請書は、事務局で作成し、1月15日までに提出することが決まりました。

3. 協会の管理体制整備について

- 法人発足時からの管理、会計の総決算を行うべく、会長はじめ全関係者からの事実
確認を行い、併せて管理各条項を明文化することとしました。
- 来年度、東京都に「認定法人」申請を行います。
- 協会の実績数値を基に、中・長期事業計画策定が急務であることを確認しました。
- ネパールの支援先に証憑となる支援履歴個別データファイル（カード）のひな型を
作成し、次回訪問時に持参、現地の事情に合わせて、支援対象者選定根拠と授受
明細を明確にすることが決まりました。

4. 次回定例会合について

- 会長不在の為、1月定例会合は中止となります。

以上